

h u t
k o k o n



h u t とは「小屋」のこと。

k o k o n h u t は、
必要最小限の住まいからスタートします。



ココンハットとは、

こ
だ
わ
り
に

手が届く住まい。

そんな住まいに込めた私たちの気持ちを、
まずはお話させてください。

日本の住まいは

極端だ。

日本の住まいは極端だ。

建売住宅では、手が届くけど物足りないし、作りこまれているが故に自由度が少ない。注文住宅はこだわられるし自由度は高いけど、手が届かない。

こだわりを持ち続けられ、手が届く範囲のちょうど良い住まいづくり。そんな住まいはつくれないか。

日本の気候風土に合った木造在来軸組工法で容易に加工できるシンプルな骨組み。

仕上げや間仕切りは生活の変化に対応して変えてゆくことができるワンルームの間取り。

住まいをつくるとき、全てを人任せにするのではなく、出来るところは自分の手でつくる。あるいは、未完成な部分を残しておいて、住まい手の生活スタイル、家族構成、時間軸によって手を加え育ててゆく。最初から完全を求めず、住まいを作り込んでいく楽しみを手放さない。

kokon huteは私たちの思い描いた、ひとつの答えなのではないかと思っています。

設計

kokon hutは、目に見えない部分の設計を大切にします。目に見えない部分の設計とは、住まいにおいては居心地というもの。



敷地内外の環境を考慮し、上手に自然の原理を利用しながら光や風、風景といった屋外の気持ちよさを住まいに落とし込みます。光がスポットライトのように差し込み、風に揺れる外の緑をのぞむ。風が吹いて木の葉が揺れれば、その影も揺れる。

柔らかい冬の陽光が住まいを、人の心を暖かくする。窓から吹き込んできた風は、頬をなで、住まいの空気を循環してくれる。

自然との関係の中で生きているという事実には、住まいの中で「具体的」に触れ、触れたあとでどんな生活の仕方が生まれるか。

kokon hutはあなたオリジナルの居心地を一緒に創っていきます。

構造

k o k o n h u t の構造は、木造在来軸組工法。可変性が少なく湿気に弱い2×4工法とは違い、柱や梁で軸を支えるので採光性と間取りの自由度に優れており、日本の温暖多湿な気候風土に合う工法なので湿気に強く、強度に優れた桧材を骨組みに使うことで、長い目で見て安心かつ可変性の高い木造の住まいになっています。

耐震・断熱

耐震に関しては建築基準法の1.25倍をベースに考えています。人の暮らしや、人の命を守るのが住まいの本来の使命。

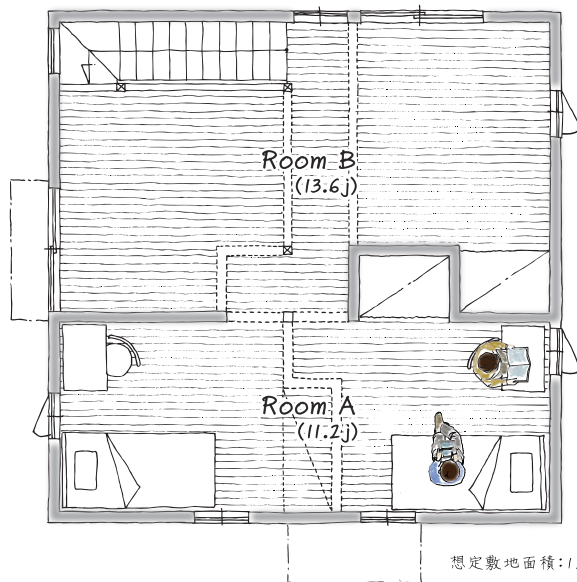
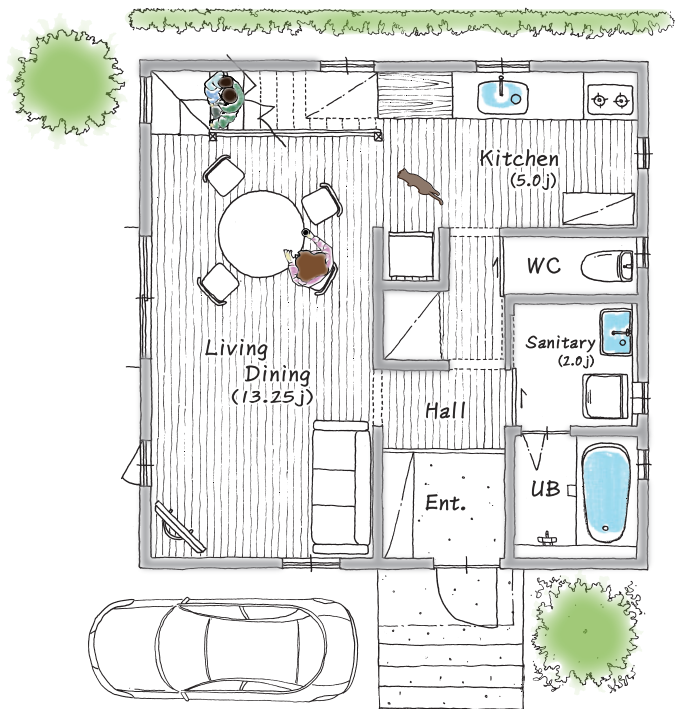
耐震力を最優先事項としてさらに強化していくことも可能です。

断熱は省エネ等級4レベルを目安に設計。

屋根へ熱や湿気を逃がす通気工法を採用しています。

必要最小限の住まいからのスタートと言っても、住まいとして妥協できない部分にはこだわっています。

kokon hut Type A (ベースプラン)



想定敷地面積: 120 m² (約 36.3 坪)

想定建ぺい率: 40%

Key word 古今オリジナルキッチン

シナ材 × ステンレスのオリジナル仕様。
シンプルに仕上げることで、お好みのキッチン
を作り込んでいけるスタイルとなっています。

Key word ワンルームスタイル

生活スペースの中心に収納を設け、回遊でき
る導線になっているため、いつでもどこでも
家族の気配を感じ、風と光が通り抜けます。

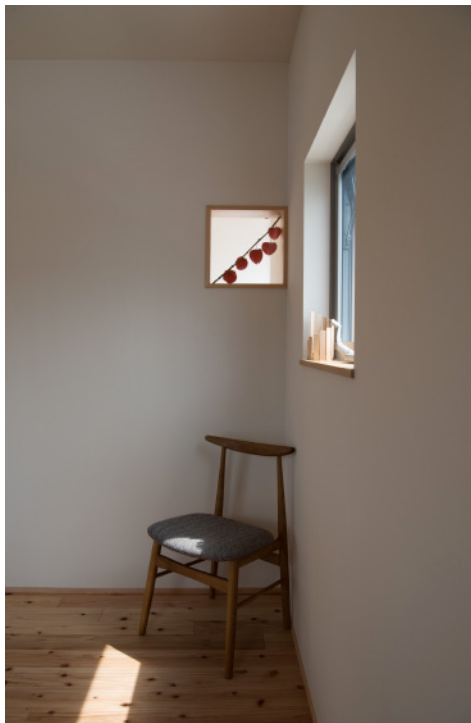
Key word 自由なレイアウト

最大4部屋まで区切れるプライベートゾーン。
その時の家族構成に応じて暮らし方を変えて
行ける包容力を持っています。



【玄関】

kokon hut の代名詞、三角庇とそれに似合う、
小ぶりの照明。凜とした空気が漂う。



【1F リビング一隅】

通路側から程良い光が入り、ふと腰を下ろしたくなる場所になった。正面にあるのは、リビングと玄関をつなぐ小窓。



【1F 全景】

建具のないワンルームの生活空間。
収納スペースを中心に回遊できる。
光も風も行き止まることなく抜けていく。



【南側外観】

無機質なシャッターを隠しつつ日よけの役割を果たす、
ガルバリウム鋼板製シャッターBOX。



【ファサード】

かわいらしさと美しさが同居する、プレーンな外観。



【1F 造作キッチン】

住まい手の使い勝手に合わせ、調整、作りこみが可能なシンプルな作り。
天板にはステンレス、木部には塗装を施し、お手入れもしやすいキッチンとなっている。



【1F 階段下ワークスペース】

北側窓から読書、作業に適したやさしい光が入るワークスペース。
キッチンをつなげることで、様々な使い方が生まれる。
生活空間内の1つの居場所となっている。



【1F 階段下ワークスペース】

間仕切ることによって最大4部屋に区切ることが可能。
杉材特有の甘い香りがただよう、プライベートゾーン。



【階段】

集成材を用いたシンプルなストリップ階段。
握りやすさと安全性、デザインを考慮し、樹種、形状、寸法を整えた。お子様も安心して登り降りできる。

建築概算見積もり書

仮設工事	9 5 万円
基礎工事	1 1 2 万円
木工事	5 4 0 万円
屋根・板金工事	8 4 万円
外装・左官工事	1 5 5 万円
サッシ工事	6 6 万円
タイル工事	8 万円
塗装工事	7 万円
内装工事	4 7 万円 (オプション:珪藻土+1,700円/㎡)
建具工事	3 4 万円
給排水設備工事	1 0 5 万円
電気設備工事	6 6 万円 (主照明別途)
什器設備工事	8 1 万円 (オプション:グレードアップによる)
諸経費	1 2 5 万円 (図面作成・詳細打ち合わせ3回)
消費税	1 2 2 万円
合計	1 6 5 0 万円

※確認申請別途、長期優良住宅・低炭素住宅仕様は別途

住まいの本質は、どれだけ時代
が変化しても変わらないと思う。
流行や時代に左右されない息の
長い普遍的な住まいの価値を、
私たちは追い求めていきます。



